

I-O DATA

UIDE-133R2

1 はじめにお読みください

B-MANU200122-02
M-MANU200101-02

ご注意

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時的に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 10) 弊社は、お客様が〔ご注意〕の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができます。
- 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出現制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標について

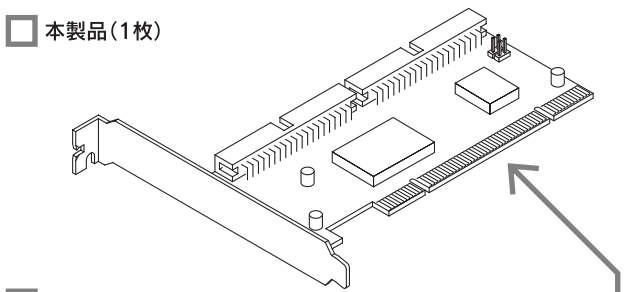
- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

箱の中には

ご使用前に以下のものがそろうていることをご確認ください。
(□にチェックをつけましょう)万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

- 注意**
- 箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
 - イラストは若干異なる場合があります。

□ 本製品(1枚)



□ Ultra ATA/133対応 IDEフラットケーブル(2本:45cm) ※2本とも同じケーブルです。



■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。



シリアル番号(S/N)は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のもので、(例:ABC0987654ZX)

●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録や弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
ユーザー登録 → <http://www.iodata.jp/regist/>
サポートソフトのダウンロード → <http://www.iodata.jp/lib/>

- サポートソフトCD-ROM(1枚) □ ハードウェア保証書(1枚)
- ☑ ①はじめにお読みください[本紙]
- ②セットアップガイド(1枚) □ ③リファレンス編(1冊)

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

対応機種	PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver.2.1バスロット以降を搭載した以下の機種 ※Low Profile PCIバスには対応していません。 ※本製品は、同時に複数枚お使用いただけません。 ●DOS/Vマシン※1
対応OS	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98(Second Edition含む)

※1弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

- 注意**
- 増設用のハードディスクを起動用としてご使用になる場合は、環境の移行が完全に終了するまで、必ず元の環境を残してください。

参考

組み合わせについて
パソコンや接続機器などの組み合わせにより、本製品の性能を最大限に利用できない場合があります。最新情報については、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.iodata.jp/>

各部の名称

各部の名称を説明します。

RAID ATA インターフェイス

プライマリーコネクタ(IDE1)

添付の「IDEフラットケーブル」を接続し、「IDEフラットケーブル」にIDEハードディスクを接続します。

※接続する1台目のIDEハードディスクは「マスター」、2台目は「スレーブ」に設定して接続します。本製品ではそれぞれのハードディスクを「プライマリー・マスター」、「プライマリー・スレーブ」と呼んでいます。

セカンダリーコネクタ(IDE2)

添付の「IDEフラットケーブル」を接続し、「IDEフラットケーブル」にIDEハードディスクを接続します。

※接続する1台目のIDEハードディスクは「マスター」、2台目は「スレーブ」に設定して接続します。本製品ではそれぞれのハードディスクを「セカンダリー・マスター」、「セカンダリー・スレーブ」と呼んでいます。

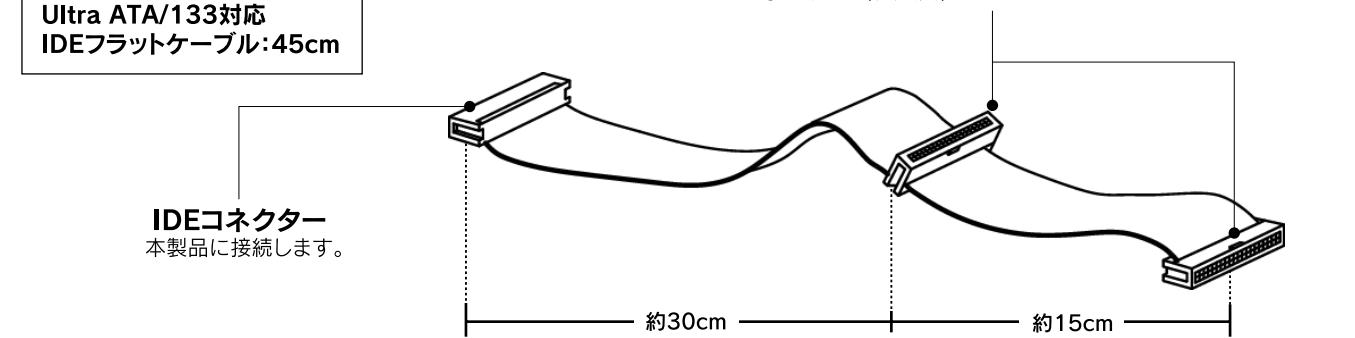
アクセランプコネクタ

アクセランプケーブルの取り付けはサポートいたしかねます

お客様の責任で行ってください。誤った取り付けを行い、本製品やパソコンが故障した場合も、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

Ultra ATA/133対応 IDEフラットケーブル:45cm

IDEコネクタ(黒・灰) IDEハードディスクを取り付けます。



IDEコネクタ
本製品に接続します。

IDEフラットケーブルについて

添付のケーブルをご使用ください。(添付品以外のケーブルは使用しないでください。)

添付品以外のケーブルや60cm等の長いIDEケーブルでご使用になると、動作不安定となり、データの消失などの恐れがあります。

接続できるIDE機器

本製品はIDEハードディスクのみ取り付けられます。

本製品にDVDドライブ、CD-RWドライブ、MOドライブなどのATAPI機器を取り付けて使うことはできません。

接続するIDEハードディスクの設定について

本製品に接続するIDEハードディスクの設定について説明します。

設定が必要なわけ

同じケーブルに取り付けられたIDEハードディスクには、マスター/スレーブの設定をし、優先順位を決める必要があります。設定をしないと、IDEハードディスクを正しく使うことができません。

プライマリー/セカンダリー

プライマリーコネクタとセカンダリーコネクタにはそれぞれIDEフラットケーブルを1本接続できます。そこに取り付けられたIDEハードディスクは、プライマリー→セカンダリーの順に認識されます。

IDEハードディスクの認識順位

- 参考
- ①「プライマリー・マスター」
 - ②「プライマリー・スレーブ」
 - ③「セカンダリー・マスター」
 - ④「セカンダリー・スレーブ」

マスター/スレーブ

同じケーブルに2台のIDEハードディスクを取り付ける場合、片方をマスター、もう片方をスレーブに設定する必要があります。

●マスター

ケーブルに取り付けられたIDEハードディスクの中で、「スレーブ」より先に認識されます。ケーブルにIDEハードディスクが1台のみ取り付けられている場合もマスター(またはシングル)に設定します。

参考

シングル
IDEハードディスクによっては、「シングル」という設定があります。シングル設定のあるIDEハードディスク以外をケーブルに取り付けない場合は、そのIDEハードディスクをシングルに設定してください。

●スレーブ

ケーブルに取り付けられたIDEハードディスクの中で、「マスター」より後に認識されます。

●ケーブルセレクト

ケーブルに取り付けられたIDEハードディスクの場所により、「マスター」「スレーブ」を自動的に設定しますが、本製品では設定しないでください。

スタンバイ機能を無効に設定する

本ボードは、WindowsのACPI機能には対応しておりません。従って、本ボードを取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

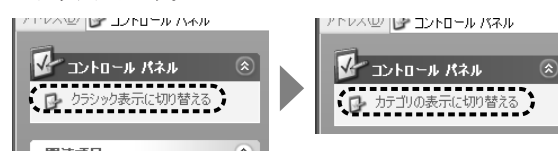
●スタンバイ機能は無効に設定してください。

① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
Windows XPの場合は、[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

② [電源オプション]アイコン(または[電源の管理]アイコン)をダブルクリックします。

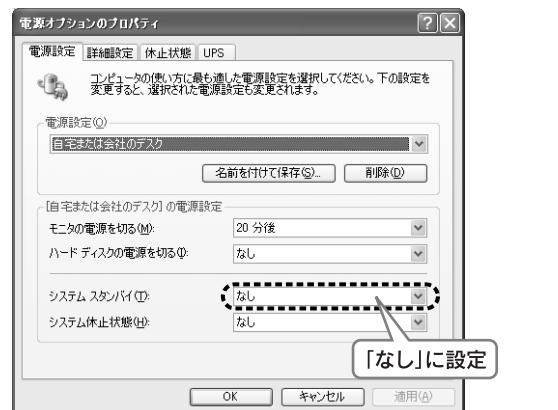
電源オプション

Windows XPでカテゴリ表示になっている場合は、[クラッシュ表示に切り替える]をクリック後、[電源オプション]をダブルクリックします。



③ [電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。

([システムスタンバイ]の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はなりません。)



※Windows XPでの画面例です。

●[スタート]→[Windowsの終了](または[終了オプション]、[シャットダウン])→[スタンバイ]は実行しないでください。

([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

